



KKR札幌医療センター産婦人科 におけるロボット支援手術

婦人科部長

加藤 達矢

2018年4月より産婦人科領域において、子宮筋腫や子宮腺筋症などの子宮良性腫瘍と初期の子宮体癌に対するロボット支援腹腔鏡下での子宮全摘術、子宮悪性腫瘍手術が保険収載となり、2022年7月よりKKR札幌医療センター産婦人科でもダヴィンチ手術システムによる子宮良性腫瘍に対するロボット支援腹腔鏡下子宮全摘術を開始しております。

ロボット支援下手術は鮮明かつ拡大された3D画像と人の手以上に繊細かつ正確な動きが可能なロボットアームを用いることにより、従来の開腹手術や腹腔鏡手術と比較してもより精度の高い手術が可能であり、これまでの実施経験でも出血量の減少や機能温存などロボット支援下手術における利点については実感できているものと考えております。

これまでも当院を含め産婦人科領域では、良性の子宮腫瘍や子宮付属器腫瘍、初期の子宮体癌に対してすでに積極的に腹腔鏡での手術が行われてきており、今後ロボット支援手術への移行が進んでいくものと思われます。KKR札幌医療センター産婦人科では、まずは良性腫瘍に対する子宮全摘術を適応としてロボット支援腹腔鏡下手術を開始しておりますが、今後初期の子宮体癌に対するロボット支援腹腔鏡下手術の実施も予定しており、現在準備を進めております。

患者さんにとって必要な際には、より低侵襲で精度の高い手術治療を提供させていただくよう心がけております。何か産婦人科の症状でお困りの際には当科外来を受診し、治療についてのご相談をいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。